e-BEEF NEWS From A North Pasture

e-ビーフNEWS 北の牧場から

March 2017

月刊情報誌
No.39

発　行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0047
北海道帯広市西17条北2丁目44-10
TEL/FAX 0155-66-5159

十勝の雪解け

気温が上がってきました。朝方は15℃(当然マイナス表示:以降同じ)前後まで下がりますが、1月の連日20℃越えまでにはなりません。昼にはプラスに転じ、気温差で17.8℃あり暖かくなってきたと実感します。あれだけあった雪が一気に解け始めました。アスファルトが出て、車が走りやすくなりました。でも裏道は大きな轍ができ、軽なら腹を衝いて走っています。ここのところ雪も降らず、風も吹かず嘘のような穏やかな日々が続いています。このまま雪が降らず春になればいいなとは思いますが･･･明日の予報は雪(ダルマ)マークが付き始めました。

先日まで、十勝帯広で冬季アジア大会の各種スピードスケート競技が行われました。高木美帆をはじめ地元の多くの選手が表彰台に揚がりました。少学校の校庭スケートリンクが生きているなと若者の活躍に力をもらいました。

活動のお知らせ

2月13日(月)　札幌　北海道酪農畜産協会
北海道アンガス牛振興協議会　アンガス牛の登録推進に関する件で打合せ
全頭登録を進め、近郊係数の解消、育種価、種牛の選定等に活用する
3月2日(木)　帯広とかちプラザ　「北海道オーガニックビーフ振興協議会」発起人会
3月30日(木)　神戸大学　日本産肉研究会(会長/松崎弘前大教授)　第19回学術集会　「放牧牛とその活用の再発見」

NEWSばか読み

- 中国春節で600万人が出国　タイ1位日本2位　1/26:爆買いに変化
- エンゲル係数　高齢･世帯数減で29年ぶりに高水準　1/26:消費実態
- 16年外食･中食が伸び、コンビニ3.6%好調　1/26:高齢少子化
- クボタ　無人トラクター20年までに投入　1/26:農業IT化進む
- 飼料米転作の影響　業務用米が卸品薄で値上げの動き　1/28:人と家畜が競合
- 厚生労働省 16年外国人労働者100万人超え　1/28:労働環境の変化進む
- 農林水産省　バター脱脂粉乳の年一括輸入ルールの見直し　1/28:
- 国産牛肉　豪州へ16年ぶりに解禁　1/29:輸出されていなかったの
- 豚肉16年価格最高値　店頭では輸入物に流れる傾向　1/30:牛肉も
- 農地転用売却益に課税強化　2/1:耕作放棄地どうにかしよう
- 岐阜県飛騨高山高校の新設課目に「飛騨牛」2/1:農業科目にも地産地消
- 16年農畜産物輸出で牛肉(130億円＋23%)と緑茶が最高の伸び　2/2:
- 道内家畜市場 1月初任牛(乳牛)90万超高値　2/2:バブリー
- 韓国　11ヶ月ぶりに口蹄疫発生　2/6:注意警戒
- 浜頓別町太陽ファーム　強化哺育で収益性アップ　2/7:実践しているんだ
- 財務省16年国際収支経常20兆円の黒字　貿易収支6年ぶりに黒字　2/9:
- 米国畜産団体　日米FTA見込み開放圧力　2/9:トランプ効果
- 貿易統計　農畜産物の輸入量が4%増加　2/10:受給率に影響
- 広島県　飼料米主原料和牛用TMRセンター設置　2/10:飼料米の活用途
- 米国農業収入9%減４年連続減収　農作物の価格低迷　2/11:圧力出力
- マルキン12月ホル6万円、交雑見送り　2/11:枝相場1,000円でも
- 国の借金過去最高の1,066兆円国債9割1人当840万円　2/11:憂いを残す
- 北海道漁獲高が歴史的低水準イカ･サケ･ホタテ不漁　2/11:これから釣りに
- 16年テンサイ(砂糖原料)が長雨･台風で19%　減2/14:天災だ
- 環境庁　宴会の食品ロス削減で3010運動推進　2/14:残さず飲もう→食べよう
- ジェネテックス新種牛発表気高系「福之百合」枝肉重とバラ厚注視　2/15:志向変るか
- らでぃしゅぼーや　保育園食品宅配で献立栄養相談開始　2/15:新たな発掘
- 中国　鶏インフルで１月79人死亡　2/16:WHOの判断と相違
- 各GMスーパー爆買い後のコト消費踏まえ改装相次ぐ　2/16:消費の変化は早い
- ミヤチク(宮崎県)EU向け新食肉加工場20年に開設　2/17:地方は積極的輸出策
- 政府　農家GAP取得に支援策　2/17:オリパラまでに間に合うか
- 和牛子牛取引16年32万頭割る最低更新、価格は倍に　2/21:どうなる肥育
- 農林水産省　畜産クラスターの機械導入も助成対象に　2/21:
- ふるさと回帰支援センター　若い人に相談増加　2/21:就農チャンス
- 鳥取大　農学部に里地里山コース新設　2/22:実地に合った研究コース賛成
- 養豚業界　チェックオフ制度導入で検討　2/22:牛業界は
- 国連　アフリカで2千万人に飢餓直面　2/24:食品ロス罪悪
- プレ金効果に地方都市、企業格差鮮明　2/25:ひとつのきっかけに
- 日銀分析　現金主義は日本が突出　2/26:カードより現金
- 総務省　ふるさと納税の返戻金に上限検討　2/27:庶民の納税上限も検討して

東京直近NEWS　(2/28　Shi-REPORT)

ホルス　2月相場は下落傾向も、アイテムの引き合いは強い状況。1月後半から近々3月も引き続き赤身を中心に問合せ多い。上位部位についても、赤身ほどではないが余剰は少なくバラ系のみが唯一若干余裕あり。要因はイベントも終わり上物が価格面で厳しく、輸入物も物量数ないことが牽引と思われる。価格については、値上げには至っておらず枝価格見合いが限界。3月中旬以降、学校が休み入り以降の状況が気がかり。各社年度末決算控え、冷凍在庫の消化には注力しており価格対応での販売の声も聞こえてきているが、冷凍は各社在庫抱えており、チルドとは逆に鈍い状況。生産は素牛が引き続き高値変わらず、導入コスト高から生産コストも上積みされ生産原価は高値変わらず。素牛高値安定から導入資金繰りに苦慮する産地も引き続き継続。

経産牛　市場相場は下落傾向。特にC1等級の安値傾向変わらず。メーカーも牛正肉在庫抱えており、パーツ関係も荷動きも鈍い。生体集荷頭数も比較的少ない状況もそれ以上に販売が鈍い模様。

加工業者は輸入物やホルスの冷凍在庫の出回り多く手当済みから、経産牛の原料供給に影響出ている。パーツは、ロイン系と一部ウチモモ程度は引合い強く余裕ないが、カタロースやバラ系の荷動きが鈍く在庫多い状況。挽材は、上記のとおり輸入物に押されており国産挽材は価格崩れており メーカーも在庫多く価格競争の模様。年度末控え、更なる挽材の価格競争が激化する恐れもあり。国産の売場拡大へ回復しておらず引合いが弱い。ガリものの挽材原料枝相場が特に下げ基調。販売状況はホルス冷凍原料の大手からの価格対応が出ており加工原料としての経産自体の需要に影響している。モモの一部やカタロース系の引き合いが鈍くなってきておりスライス原料としての販促提案を実施している。挽材は相変わらず、国産としての売り場縮小から回復していない。相場はやや下げ傾向で流通しているものの、売り場縮小と輸入へのシフトから取戻しきれていなが、価格訴求で需要回復を目論みたいところ。生協筋などは、自社の産直原料などの在庫が潤沢で、その在庫消化を優先している状況と聞き及ぶ。

左先生の畜産学研究NEWS

経済の語源は漢語文化圏では経世済民(経国済民)とされ、世の中を治め、人民の苦しみを救うとありますが、今の日米首脳の指向からは語源を想像できず、利益優先、拝金主義などのイメージがつきまといます。日米首脳会談で日本が米国にすり寄って安全保障を確認し、通商の話で宿題を負わずに済み安堵したというわが国の新聞論調とは対照的に米国の新政権を瀬踏みする世界は冷静です。手放しで喜ぶ日本人も多くないのですが、そこまでしないと日本の安全と経済発展が守れないことに驚き、改めて流動化する世界の中で日米の関係は変わらないのかと複雑な思いがしました。

e-びーふNews39号の学術情報は以下の通り「肉用牛研究会報」#102の4題と「畜産技術」の内容です。

1. 畜産技術2017.2: 5-8,(研究レポート)肥育後期の黒毛和種における腰最長筋の脂肪酸組成の変化(大山憲二: 神大院農食資研セ)

筋肉内オレイン酸含量が肥育後期に増加するかどうか検討しました。110頭の黒毛和種牛の胸最長筋から出荷と畜(平均29.2ヶ月齢推定)時、出荷2,4ヶ月前に生検試料を採取し、筋肉内脂肪の脂肪酸組成を分析し、不飽和脂肪酸(MUFA)が生体時58.1%から出荷時60.5%に増加することを確認しましたが、肉質の向上に繋がったという証拠は示されませんでした。

2. 2017.2 肉用牛研究会報 #102:8-14, 粉砕飼料用米(モミ)の肥育全期間多量給与が黒毛和種去勢牛の産肉性および肉質に及ぼす影響(武田賢治他、岐阜畜研)

飼料用米モミロマンを4mmに粉砕加工し、30%配合が上限とされる飼料用米を60%配合飼料に設計して黒毛和種去勢牛に20ヶ月給与しました。その結果、対照区よりTDN摂取量がやや少なく、増体量も有意に減少しましたが、枝肉成績、肉質には影響がないとされています。

3. 2017.2 肉用牛研究会報 #102:15-20, オレイン酸含有量の高い脂肪酸カルシウム給与が黒毛和種去勢牛の筋間脂肪における脂肪酸組成に及ぼす効果(坂上信忠他、神奈川畜技セ)

牛肉の風味向上に資するとされるオレイン酸を41%含む脂肪酸Caを31ヶ月齢出荷の黒毛和種去勢牛10頭に豆腐粕50%配合発酵飼料と共に4ヶ月間135g/日で給与しました。その結果、増体成績、飼料摂取量および枝肉成績や肉質には影響せずに筋間脂肪のオレイン酸割合が高くなりました。

4. 2017.2 肉用牛研究会報 #102: 21-25, 飼料成分の急激な変更が黒毛和種繁殖牛の血液生化学検査値に及ぼす影響(渡邉貴之他、家改セ鳥取)

黒毛和種繁殖牛(年齢不明)5頭に牧草低水分サイレージ、乾草、コーンサイレージのTMRを基礎飼料に大豆粕を1.5kg/日加給して10日後まで血液生化学(BC)値の経時変化を観察しました。その結果、タンパク飼料加給後上昇したのは尿素態Nやｱｾﾄ酢酸でその他のBC値に有意な変化はなく、アンモニアや乳酸値は加給直後に大きく変化し、給与飼料の変更にはエネルギーバランス等に注意が必要です。

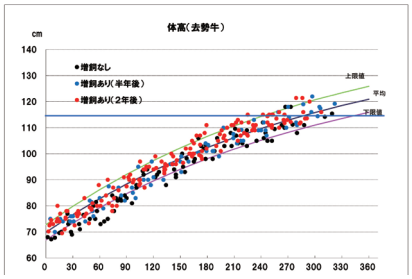
5. 2017.2 肉用牛研究会報 #102:26-30, 牛脂肪交雑基準の低い牛肉の脂肪交雑形状に関する画像解析を用いた詳細評価(竹尾真紗美他、帯畜大)

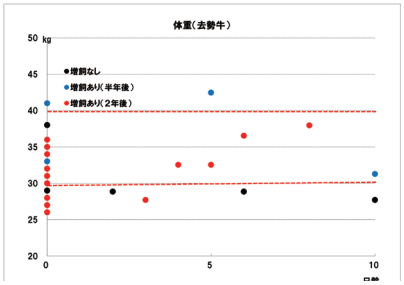
黒毛和種を含めて交雑種、褐毛和種、ホルスタイン種、日本短角種および十勝若牛などのBMS値2,3と判定された牛肉を新細かさ指数と脂肪面積割合をもとに脂肪交雑の詳細評価するiBMSを作成しその分類精度を検討しました。その結果、BMS2,3に対する1~3+,8段階のiBMSの頭数割合は供試全品種共BMS3が高く、新基準は詳細で適切な霜降り程度を評価できると思われました。

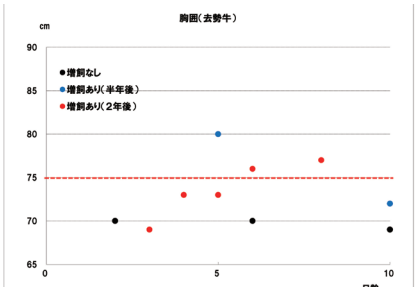
道総研　畜産試験場NEWS

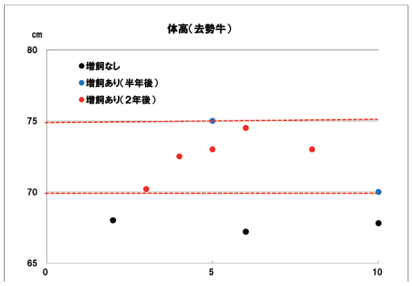
「和牛繁殖牛・子牛の飼養管理 市場評価の高い子牛を育てるために⑤　全6回シリーズ

道総研　畜産試験場　肉牛グループ　佐藤 幸信







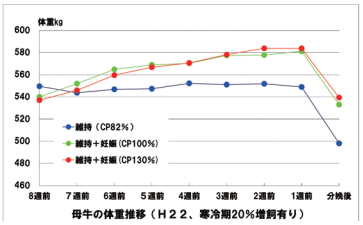


分娩前の増飼によって
- ○ 体重(胸囲)の大きな子牛が生まれるようになった
- ○ 体高のある子牛が生まれるようになった

芳之国の産子♀
生時体重24kg
H24年2月17日

勝早桜5の産子♂
生時体重35kg
H25年11月2日

妊娠末期2ヵ月の正しい増飼は母牛を太らせるものではない



母牛の体重推移（Ｈ２２、寒冷期20%増飼有り）

牛が肥っていると増飼しなくてもいいの？

胎児の栄養はアミノ酸とグルコース（ブドウ糖）

↓

増飼がないと母牛は自分の体を分解してこれらの栄養を造る

↓

体を分解してグルコースを造るときの寄与率は
筋肉（アミノ酸）が３０%
脂肪が１０%

↓

分娩前の増飼なしはダイエット効果が少なく、母牛の筋肉を減少させる

分娩前の増飼で難産は増えるのか？

増飼なしは母牛の筋肉を弱め難産を増やす

		頭数	子牛体重(kg)	分娩状況 死亡	難産	自然分娩
増飼なし	頭	118	34.5	8	36	74
	%			6.8	30.5	62.7
増飼あり	頭	72	38.0	3	9	60
	%			4.3	12.5	83.3

佐野　畜牛の友2004年11月

分娩前の増飼効果の確認

●目標とする出生子牛の胸囲(体重)

・オス子牛は体高・胸囲が75cm(体重35kg)
(注：初産、但馬系はメス子牛に準じる)

・メス子牛は体高・胸囲が72cm(体重31kg)

胸囲(cm)	70	71	72	73	74	75	76	77	78
オス体重(kg)	28.9	30.0	31.3	32.5	33.8	35.2	36.5	38.0	39.4
メス体重(kg)	28.3	29.5	30.7	31.9	33.2	34.5	35.9	37.2	38.7